



成果発表を熱心に聞く参加者

.....

業の2006年度成果発表会がこのほど、帯広東急インで開かれた。参加者は、ナガイモやチーズの食品機能性の研究成果について熱心に聞き入っていた。

ナガイモなど 研究成果を報告

都市エリア産学官
連携事業の発表会

十勝産農産物などの高
付加価値化を目指す都市
エリア産学官連携促進事

文部科学省が実施する
同事業は、十勝エリアで
は農畜産物の高付加価値
化を目指した技術開発を
実施。2005年度から、
ナガイモ、ジャガイモ、
チーズなど5テーマ

を設定して産学官連携型
で研究が進められている。
.....

十勝圏振興機構（とち
ち財団、有塚利宣理事
長）の主催。食品加工関
連の企業担当者や行政関
係者ら約120人が参加
した。

文科省地域科学技術振
興室の真先正入室長が基
調講演し、国の実施する
科学技術振興施策につい
て紹介。同財団や帯広畜
産大、道農業研究センタ
ーの研究者、連携する企
業担当者ら12人が、ナガ
イモのコレステロール低
下作用、チーズの高品質
化と安全性確保の技術開
発についてなど12件の成

果報告を行った。

チーズの高品質化に向
けた技術開発を手掛けて
いる同財団食品加工技術
センターの葛西大介主任
研究員は「外見の珍しさ
などで、十勝らしさを出
し、付加価値を高めてい
きたい」と話した。

（井上朋二）